

I 定例役員・幹事会開催・・・第Ⅱ期(後期)第1回

1月31日(土) (15:00～17:30) 大阪市・中之島プラザ会議室にて開催されました。

出席者12名全員(敬称略・*委任状にての2名含む)

役員 由良(会長)・増田(会長補佐)・阪本(会計)・相本(会計監査)

幹事 *酒井(特命)・松尾(特命)・青嶋(事業)・西村(渉外)

*淨住(特命)・兵藤(特命)・宮崎(特命)・松永(広報)

定例役員・幹事会では、由良会長のご挨拶に引き続き、増田会長補佐の進行役で、次の3議案について協議しました。〈写真1〉

【議案1】第Ⅱ期(前期)第5回・6回懇談会について報告

・第Ⅱ期(前期)最終会計数値・・・会計(第5回・第6回)

・第Ⅱ期(前期)新聞活動報告・・・広報(第12号・第13号)

【議案2】第Ⅱ期(後期)第7回・8回懇談会について決議

・日時:第7回は2015年5月16日(土)・・・全会一致で内定。

・場所:2月下旬目途に企画室にて起案して場所を選定する。

(会議の席上、企画案(右表)をたたき台として検討した)

・内容:3月中旬目途に広報室より会員各位に開催案内する。

【議案3】関西オープン・カレッジ(仮称)について自由討議

その結果、案件を原点に戻し経緯・方針を再点検することとした。

・提案者は個人? 主体者は誰(日吉)か? 主務者は誰(関西)か?

・塾当局・日吉寄宿舍・大阪シティキャンパスらの意向は?

・会是5慮にある未来志向・塾に貢献の目的に合致するか?

・2016年からの新執行部に能力的・時間的余裕あるか?

これらの点について、今後、会長室と寮和会本部で意見交換する

〈備考〉第Ⅱ期会計年度(2014年1月1日～2015年12月31日)

第Ⅱ期定期総会(第Ⅱ期内2回 即ち毎暦年1回)

年間定期懇談会(原則2回 多くても3回)



〈写真1〉由良会長より年頭のご挨拶

企画案 一覧表 (叩き台!)

2015年4月～5月(土日・祝)

4月/4～5・11～12・18～19・25～26・29日

5月/2～6・9～10・16～17・23～24・30～31日

- 1) 演芸・喜劇鑑賞: 天満天神繁昌亭・吉本新喜劇・松竹芸能など
- 2) 伝統芸術鑑賞: 文楽・能・歌舞伎など
- 3) スポーツ観戦: 大相撲春場所・なでしこリーグ・Jリーグなど
- 4) 美術見学: 国立国際・大山崎山荘・京都国立近代など
- 5) 工場見学: サントリー山崎・白鶴・近畿大学水産研究所など
- 6) クルージング: 港町神戸湾・明石海峡大橋・琵琶湖周遊など
- 7) 世界遺産訪問: 高野山・姫路白鷺城・宇治平等院など
- 8) 大阪名所: あべのハルカス・通天閣・海遊館など
- 9) 神戸名所: 王子動物園・摩耶山など 10) その他: 以上

新年事務局体制(会則組織上は 事務局長のみ 他は 委嘱役職)

- ・阪本事務局長(兼)企画室長
- ・淨住事務局員(兼)特命幹事(名簿・本部・舎生担当)
- ・兵藤事務局員(兼)特命幹事(平成担当)
- ・増田事務局長補佐(兼)会長室長
- ・松永事務局長補佐(兼)広報室長

定例役員・幹事会の終了後(17:30～)、新年会を中之島プラザのレストラン<コスモ>で開催しました。その中で、昨年のイベントや今年のイベント案等について杯を傾けながら、楽しく語り合いました。

最後に、今年で節目の三年目になる関西慶應寮和会の検討を誓い合い、散会としました。

Ⅱ <OFF-TIME>

第Ⅱ期中に役員・幹事の趣味の紹介を是非とも終えたいので、今回は阪本さんと記者(松永)の趣味を紹介します。

最初は、いつも素晴らしい企画を行ってくださる阪本さんにインタビューをしました。阪本さんは、特に趣味は無いと謙遜されますが、その中でもあえて言うなら「東京ディズニーランド」と「幹事役」が趣味とのことでした。「東京ディズニーランド」

東京ディズニーランド(TDL)はお子様が生まれてからほぼ毎年行っているそうです。お子様のために朝の5時から並んだり、ファストパスチケットを確保するため園内をダッシュするほどの子煩悩ぶり。TDLは娘さんが大好きで喜んでいる顔を見るのが何より嬉しく、数少ない父親と娘の接点でもあり、お子様が一緒に行ってくれる間は、これからも毎年行くつもりとのことでした。<写真2>

「幹事役」

もともと幹事役を引き受けることが多かったそうですが、この年になると昔の仲間との集まりが増えて来て、幹事役を引き受ける機会が増えているとのこと。でも、もちろん関西慶應寮和会の仕事を最優先にしていますとPR。もともと、阪本さんは世話好きで、イベント等の終了後に「お疲れさん。よかったよ」と声をかけてもらえるのを楽しみに、幹事を務められています。「今年は、定例懇談会で30名以上出席を目指し、企画を考えます」と力強く結ばれました。



<写真2> 阪本さんTDLで大はしゃぎ



<写真3> 記者将棋に集中

次は、記者(松永)の趣味を紹介します。すでに50代も半ばなのですが、年々落ちる記憶力低下の対策にと5年前に始めたのが将棋で、現在大いにはまっています。一週間に一度は京都市の将棋連盟の支部で、腕を磨いており、ただいま初段。＜写真3＞ただし、勝率は5割にも満たず、苦戦の連続です。頭を使うゲームは頭の柔らかな若いうちに鍛えないとだめと痛感。記者にとり、将棋の魅力は二つあります。

一つ目は、将棋は大変人間味が濃いゲームであり、時々状況が日常生活にもそのまま表れることがよくあり、まさに人間道場だなと思うことがしばしばあります。例えば「一步千金」などの将棋格言がそれを物語っています。

将棋は構想力を問われるゲーム。反面、相手が何をさすかを常に考えなければならず、相手の心を瞬時に読む重要性を、今になってわかってくるなど、大いに勉強になります。

二つ目は、将棋ファンとしての楽しみ方。棋戦を楽しむのは勿論ですが一般の人にとっては、単に娯楽である将棋を職業としているプロ棋士(一年に原則4人しかかなれない大変狭き門です)の考え方・生き方をウオッチするのが、楽しみの一つです。羽生名人などは有名ですが、二年前、初めて慶應理工学部出身の上村亘四段がプロ棋士でデビューしたので、今後、注目・応援していきたいと思います。(早稲田出身は、相当数いるのですが)

Ⅲ 編集後記

今年も、帰省の帰路に全国大学ラグビー選手権準決勝を秩父宮ラグビー場に観に行ってきました。第2試合は、昨年に引き続き、慶應対帝京の試合。

選手権五連覇中の帝京に対して、慶應の不利が伝えられていましたが、立ち上がりは慶應FWの捲り上げる様な押しに大型帝京FWが後退、会場は大いに盛り上がりました。＜写真4＞前半中盤過ぎまでは、この気迫のタックルとFWの健闘の中、キック多用のゲーム展開となり、前半31分には慶應のトライ成功。＜写真5＞10(慶應)対19(帝京)と一旦は面白くなりましたが、後半は、地力の差が出て10対53で敗退。残念でしたが、魂のタックルは健在でした。来年は是非とも大きな壁を突破し、選手権で優勝を勝ち得てほしいと思います。

関西慶應寮和会の活動も今年が真価を問われる三年目。昨年より更に楽しく、そして、ためになる企画を考えていきますので、皆様のご参加をお待ちしています。また何かご意見がございましたら、遠慮なく、広報室までお知らせください。

以上



＜写真4＞慶應スクラムで健闘



＜写真5＞前半初トライで抱き合う慶應フィフティーン